

2月27日のウクライナ情報

安齋育郎

●ドイツの専門家 ウクライナ紛争によるドイツの経済的損失を明らかに(2023 年 2 月 20 日)

ドイツは 2022 年、ロシアによるウクライナでの軍事作戦と、それに伴い欧州でエネルギー価格が上昇していることにより、経済生産性の 2.5%を失った。ドイツ経済研究所(DIW)のマルセル・フラッシャー所長が、独紙「Rheinische Post」のインタビューでこのように述べている。

2.5%に対する損失額は 1000 億ユーロ(約 14 兆 3200 億円)に相当するという。フラッシャー氏は、今後数年間は損失が増加し続けることになる」と指摘している。

同氏は、ドイツが特に危機の影響を受けたのは「ロシア産エネルギーへの依存度が高い上、エネルギー集約型産業の割合が高く、輸出やグローバルなサプライチェーンに大きく依存しているため」と述べている。

これよりも前、スプートニクは、ドイツが政治的な動機でロシア産天然ガスを拒んだために同国が負わなければならない代償について報じた。



●ロシア、ウクライナがモルドバ東部侵攻を計画と非難＝RIA(2023年 2 月 23 日)

〔23日 ロイター〕 - ロシア国防省は23日、ウクライナが偽旗作戦を展開して、国境を接するモルドバ東部の親口派トランスニストリア地域(沿ドニエストル共和国)に侵攻する計画だと非難した。ロシア通信(RIA)が伝えた。

同省はウクライナが侵攻の口実として、トランスニストリアからのロシア軍兵士による攻撃に見せ掛けた偽旗作戦を計画していると主張した。

また、ロシアのタス通信はガルージン外務次官の発言として、西側がモルドバ政府に対し、トランスニストリアの政権との連絡を全て停止するよう指示したと報じた。

モルドバのサンドゥ大統領は今月、ロシアが外国の妨害工作員を使ってモルドバの指導者を失脚させ、トランスニストリアを戦争に巻き込もうとしていると非難した。



●懸念すべきはロシアと中国の関係ではなく、世界を破壊する米国の役割＝中国外交部(2023年2月23日)

中国外務省の汪文斌報道官は 23 日の記者会見で、ロシアと中国の関係で懸念を引き起こすものは何もないが、本当に懸念を引き起こしているのは、世界の平和と安定を破壊する米国の役割であるとの考えを示した。

米 국무省が中国とロシアの関係に懸念を抱いているという報道について、記者団からコメントを求められた汪氏は、「ロシアと中国の関係は、同盟に参加しないこと、非対立、第三者を標的にしない原則の上に成り立っている。これは世界の平和と安定を維持する上でプラスの要素であり、懸念する必要はない。本当に懸念すべきなのは、世界の平和と安定を破壊する米国の役割だ」と答えた。

汪氏は、米国は世界で最も多く戦争を作り出す国であり、米国は 240 年以上の歴史の中で、戦争しなかった期間は 16 年間しかないと指摘した。

これよりも前、中国の外交トップの王毅氏(外事工作委員会弁公室主任)がモスクワを訪問し、ロシアのプーチン大統領、セルゲイ・ラブロフ外相、ニコライ・パトルシェフ安全保障会議書記と会談を行った。



●ロシアを孤立させようとする西側の試みは、ほとんど失敗している＝メディア(2023年2月23日)

ロシアを孤立させようとする西側諸国の試みは、ほとんど失敗している。米紙「ワシントン・ポスト」がこうに報じている。

同紙は、ロシアによるウクライナでの軍事作戦によって提起された問題に関して、「西側諸国の外からよく見てみると、世界が一致団結しているとは言い難いことがわかる」と指摘した上で、「この紛争は、世界の分断と、急速に変化する世界秩序に対する米国の影響力の限界を明らかにしている」と報じている。

また同紙は、「中国やイランなど、ロシア政府を支援するとみられるロシアの同盟国の間だけでなく、(ロシアの)プーチン大統領を孤立させようとする努力が失敗したことを示す十分な証拠がある」と伝えている。

ワシントン・ポストの記者はその記事で、ロシアとの貿易拡大に関するインドの声明に注目している。また、ロシアのセルゲイ・ラブロフ外相がここ 6 週間で南アフリカを含むアフリカと中東諸国の 9 カ国で歓待されたことを指摘している。



●スコット・リッター、ウクライナ戦争の1年を語る(2023年2月23日)

<https://youtu.be/Fl4C7Ay5qtA>

※安齋注:日本語字幕はありませんが、自動翻訳機能呼び出して下さい。時に意味不明の翻訳もありますが、大意は理解できます。重要な動画です。



●ウクライナの軍登録・入隊事務所(2023年2月23日)

ウクライナの軍登録・入隊事務所の職員が、徴兵者を捕まえる様子を撮影した新しいビデオがネット上に数多く登場しているが、ウクライナの政治家モシチュクの話では、動員された人一人につき 8 千フリヴニャ(約 2 万 9 千円)が支給されるそうだ。



●捕虜になったウクライナ兵の率直な気持ち(2023年2月23日)

ウクライナの戦闘員は、塹壕に留まるよりもロシアに捕らえられた方が良いと確信しており、同胞にそうするよう促している。

<https://twitter.com/i/status/1628628592182820866>



●ノルドストリームはウクライナが破壊した？(2023年2月23日)

ハーシュ氏のスクープ記事からノルドストリーム爆破犯として米政府への突き上げが強まる中、米口(分断)外交専門家の Fiona Hill 氏が「証拠はないが、ウクライナがやったと思う。やる能力はなかったが、何らかの方法を見つけたのかもしれない」と発言。

<https://twitter.com/i/status/1628343062245122051>

※安齋注:何言ってんだかねえ、この人。「証拠はないがウクライナがやったと思う」だって？ホントに理性的な専門家なんですかねえ。フィオナ・ヒルは、英国生まれのアメリカの外交専門家で、ウラジーミル・プーチンの人物に焦点を当てた強い反ロシアスタンスを持っており、「プーチンの人格障害」などの「分析」を行っています。

Fiona Hill

Dr Fiona Hill is a British-born American foreign affairs specialist who has spent her whole career working to expand US influence in Eurasia. She is a former official at the U.S. National Security Council specializing in Russian and European affairs. She has a strong anti-Russian stance, focused on the person of Vladimir Putin, with analyses such as "Putin's Personality Disorder" and "What If Putin Disappeared for Real?"

Contents [hide]

- 1 Early life and education
- 2 Career
- 3 National Intelligence Council
- 4 Writings
- 5 Events Participated in
- 6 References

Fiona Hill     
(spook, academic)



●国連のウクライナ紛争決議をめぐる攻防(2023年2月23日)

国連総会は水曜、ウクライナと西側諸国が作成した決議案を議論する特別会合を再開。表向きは和平の実現を目指しているが、文書には和平交渉の開始を求めるものはない。だが、ロシアに軍隊を撤退させるという要求はある。

ベラルーシは紛争勃発の責任をモスクワに負わせる条項を削除する修正案を出している。

アメリカはこの修正案に反対し、EU ボレルも拒否するよう求めている。

国連常駐代表ネベンジャ氏は、この決議案は反ロシア的で悪意に満ちたものであることに変わりはない。NATO の同盟国である EU に代表される集団的西側と戦争状態にあることを疑う余地はほとんどない、と改めて強調した。

<https://twitter.com/i/status/1628665651417190401>



●ドイツでの反戦、反 NATO、反ウクライナ支援運動(2023年 2 月26日)

50,000 人のドイツ人が、ナチズム、NATO、およびウクライナへの武器供給に反対するために結集しました。雨と湿った雪は、今日のベルリン最大のラリーを止めませんでした。家族全員が、「ナチズム、NATO、およびウクライナへの武器供給に対する平和のために」という言葉が書かれたプラカードと旗を持っていました。

<https://twitter.com/i/status/1629595506002493440>



●スペイン首都で NATO のウクライナ戦略に反対する抗議活動開催(2023年2月26日)

スペインの首都マドリードでは、NATO(北大西洋条約機構)の軍事戦略およびウクライナへの兵器供与に反対する抗議活動が行われた。

マドリードでは、「戦争に反対する国民集会」が開催された。抗議活動は市内のカリオ広場で始まり、外務省前で終了した。抗議活動の参加者らは軍事費を GDP の 2%にまで引き上げることに反対し、これらの資金を社会保障費、及び電気代や生活必需品の高騰に苦しむ市民への支援に充てることを要求した。

先に与党と連立政権を組む左派のポデモス党は、ウクライナ危機に対する政策の見直しを政府に要求していた。

2023 年 1 月にペドロ・サンチェス首相が表明したところによると、スペインはウクライナ危機勃発以降、3 億ユーロ以上の軍事支援を表明してきた。またスペインはウクライナに主力戦車「レオパルト 2」を 6 両供与することを予定している。サンチェス首相によると、スペインは最大 10 両の「レオパルト 2」を供与する可能性がある。



●ウクライナ難民が気づき始めた現実(2023年2月25日)

ウクライナからの難民の約 77%、国内避難民の 79%が帰国を望んでいるが、今後 3 ヶ月以内に帰国できるのはそれぞれ 12%に過ぎない。

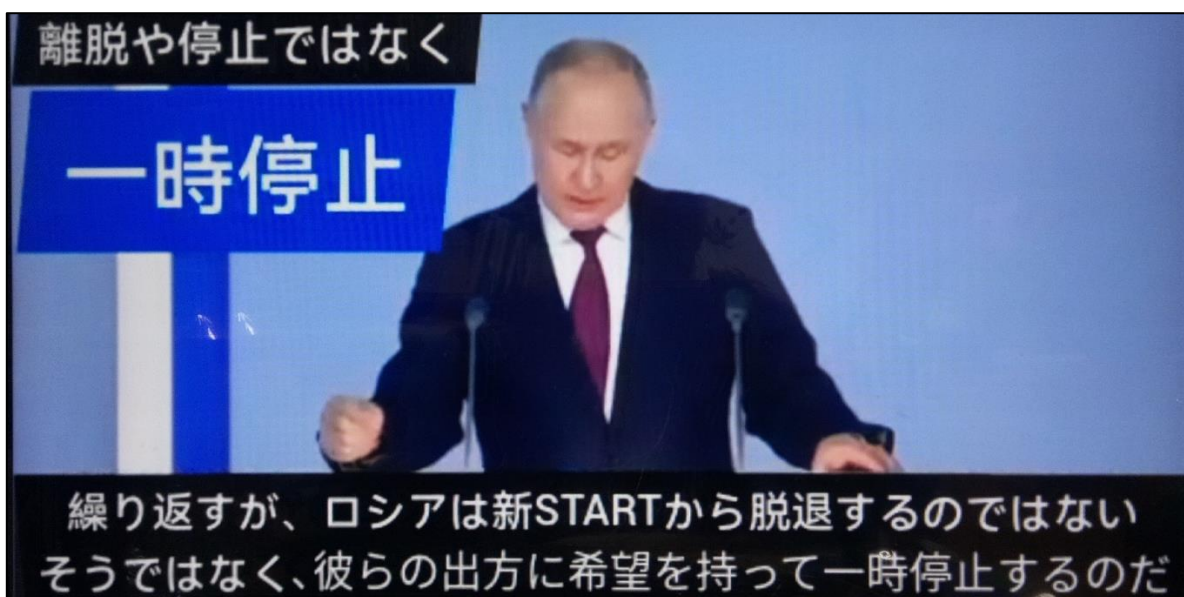
しかし、ウクライナ人は、この血なまぐさい政権が続く限り、自分たちには家がないことに気づき始めている。



●ロシアの新 START 参加の一時停止の意味(2023年2月26日)

投稿者コメント:代理戦争を仕掛けたシオニスト帝国主義アメリカ、イギリス、イスラエル+NATO の拡声器である西側+日本メディアも、日本の自称オルタナティブも、ロシアの新 START 参加の一時停止を故意に「離脱」や「停止」と誤訳。一時停止には、「核の均衡を破るシオニスト帝国主義の危険な妄想は許さない」(平和は核戦争に勝る)という真意がある。

<https://twitter.com/i/status/1629621859783426048>



●「NATO が東方拡大したのではない」と駐日米国大使(2023年2月25日)

投稿者コメント:ノルドストリーム爆破を予告実行したテロ国家usは、もはやテロや代理戦争や侵略戦争やワクチン etc.の悪事がばれようが、「自主」「自由」「個人の尊重」「民主主義」という常套嘘で、「自らの意思で騙された方が悪い」という究極のしらばっくれ!!

情報統制下の「自主」はテロ国家usが押し付けた嘘!!横行者コメント:ノルドストリーム爆破を予告実行したテロ国家usは、もはやテロや代理戦争や侵略戦争やワクチン etc.の悪事がばれようが、「自主」「自由」「個人の尊重」「民主主義」という常套嘘で、「自らの意思で騙された方が悪い」という究極のしらばっくれ!!

情報統制下の「自主」はテロ国家アメリカが押し付けた嘘!!



●クレタ島での反 NATO、ウクライナへの武器支援反対集会(2023年2月26日)

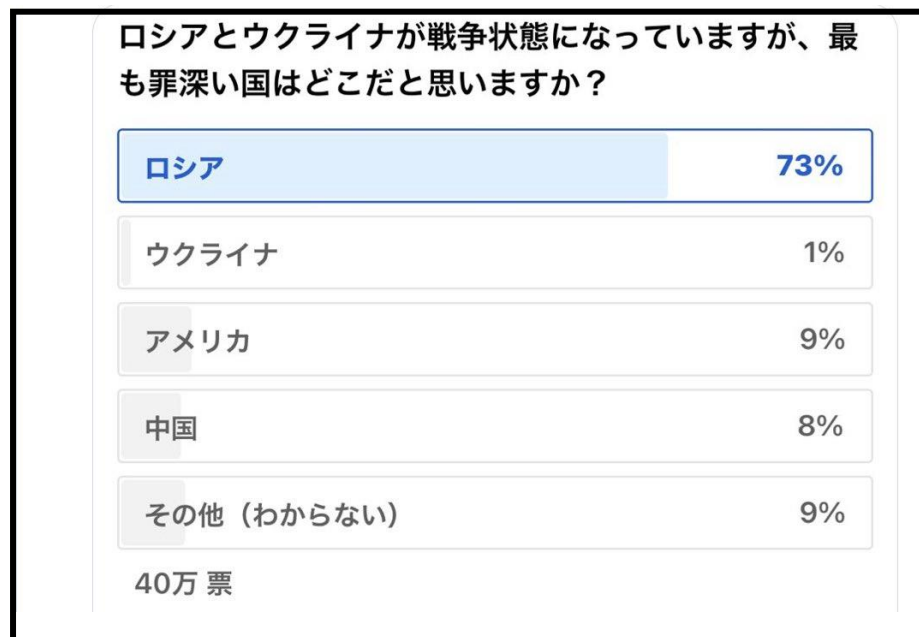
ウクライナでの NATO の拡大とキエフへの武器の供給に反対する集会がギリシャのクレタ島で開催されました。

平和友好公園での活動は、アテネのドストエフスキー研究所の代表者によって組織されました。

<https://twitter.com/i/status/1629512487895961601>



●ニューヨーカーのトンデモ認識(2023年2月26日)



●「最前線でのバフムートの平均余命は 4 時間近く」 - ニュースウィーク(2023年2月20日)

「ウクライナの最前線で戦っているアメリカ人は、バフムートの戦場は恐ろしいものだ」と警告している。冬が終わり、春が近づくにつれ、軍事専門家はロシア軍からの攻撃が再開されると推測している。

Newsweek

SUBSCRIBE FOR \$1 >

WORLD

Bakhmut Life Expectancy Near Four Hours On Frontlines, Fighter Warns

BY ANNA SKINNER ON 2/20/23 AT 12:10 PM EST